

盛岡市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて

1 見直しの視点と必要性

(1) 教育・保育

教育・保育について、計画における量の見込みに対する、支給認定区分ごとの子どもの実績値の割合を確認したところ、一部で10%以上のかい離が認められた（詳細別紙）ことから、算定の基礎となる児童人口の再推計のほか、女性就業率の段階的上昇による保育需要の拡大も見込みながら、教育・保育の量の見込みの再推計を行い、確保方をあらためて検討する。

(2) 放課後の子どもの居場所づくり

放課後児童健全育成事業について、計画における量の見込みに対する実績値の割合を確認したところ、かい離は10%を超えなかった（詳細別紙）ものの、本市が、平成28年度及び29年度に実施した「児童の放課後の居場所調査」の結果によれば、両親が共働き等で日中家庭にいないため、放課後の居場所確保が必要と思われる児童が、学童クラブの定員を超えて確認されたことから、基礎となる児童人口の再推計のほか、同調査の結果も踏まえ、必要な量の見込みの再推計を行う。

(3) 児童虐待防止

全国的に児童虐待相談対応件数が年々増加していることを受けて、国は、市区町村が身近な場所で子どもや保護者を継続的に支援していくことが重要であるとし、児童相談所の設置自治体を中核市まで拡大することをはじめとして、子育て世代包括支援センターの法定化や児童相談所からの市町村への事案送致の新設、子ども家庭総合支援拠点の新設などについて法整備を行ってきているところである。

これらを踏まえ、児童虐待の防止対策について、本計画に盛り込み、取組を強化する。

(4) 子どもの貧困対策

平成25年国民生活基礎調査によれば、子どもの貧困率は16.3%であり、特に、ひとり親世帯の貧困率は54.6%と極めて高い状況にあることが明らかになった。

本市では、平成27年度及び28年度に、岩手県立大学との協働により「ひとり親世帯の子どもの生活実態に関する調査研究」を実施し、本市の母子世帯の母と子どもの生活実態や生活意識、貧困に繋がる要因と課題などを把握したところである。

これらを踏まえ、子どもの貧困対策の強化を本計画に盛り込むとともに、計画的・総合的に取組を推進する。

2 教育保育の計画値と実績値

	平成27年度				平成28年度				平成29年度				
	計画値		実績値		計画値		実績値		計画値		実績値		
1号認定子ども	量の見込み(①)	2,316	2,423	2,231	1,899	2,045	1,968						
	確保方策(②)	3,826	3,826	3,826	3,826	3,826	3,826						
	特定教育・保育施設	1,186	1,186	1,476	1,476	2,826	2,826						
	確認を受けない幼稚園	2,640	2,640	2,350	2,350	1,000	1,000						
	差(②-①)	1,510	1,403	1,595	1,927	1,781	1,858						
2号認定子ども	量の見込み(③)	4,382	4,490	4,352	4,748	4,239	4,844						
	幼稚園希望	1,081	1,109	1,074	1,172	1,046	1,196						
	上記以外	3,301	3,381	3,278	3,576	3,193	3,648						
	確保方策(④)	3,760	3,729	3,793	3,849	3,841	3,930						
	特定教育・保育施設	3,760	3,729	3,793	3,849	3,841	3,930						
	差(④-③)	△ 622	△ 761	△ 559	△ 899	△ 398	△ 914						
3号認定子ども	年齢区分	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳	0歳	1・2歳
	量の見込み(⑤)	817	2,294	1,414	2,484	819	2,280	1,436	2,485	813	2,254	1,537	2,605
	確保方策(⑥)	611	1,834	611	1,828	636	1,884	644	1,918	692	1,978	723	2,091
	特定教育・保育施設	611	1,834	611	1,828	630	1,872	616	1,832	680	1,954	660	1,934
	地域型保育事業	0	0	0	0	6	12	28	86	12	24	63	157
	差(⑥-⑤)	△ 206	△ 460	△ 803	△ 656	△ 183	△ 396	△ 792	△ 567	△ 121	△ 276	△ 814	△ 514

3 計画の改訂方法

とりまとめた見直し内容を、現行計画に、新たに「第6章 盛岡市子ども・子育て支援事業計画の見直し」として章を起こして追記する。

また、子どもの貧困対策については、加えて、基本目標や具体的な取組を取りまとめたアクションプランを別途策定するものとする。

4 経過と今後のスケジュール

平成29年3月	中間見直しの方針決定
4月～	教育・保育の量の見込みの算定
5月	児童の放課後の居場所調査
7月～	(仮称) 子どもの貧困対策アクションプランの検討
10月	子ども・子育て会議 量の見込みに対する確保方策の検討
11月	市議会全員協議会 ((仮称) 子どもの貧困対策アクションプラン)
12月	(仮称) 子どもの貧困対策アクションプランに係るパブリックコメント
平成30年2月	子ども・子育て会議 市議会全員協議会
3月	市長決裁により決定